

第47回 全国公民館研究集会東京大会

ミライにつなぎひろげる公民館

— 公民館に新たなイノベーションを！ —

Profile



山崎 亮

やまざきりょう

studio-L代表、
関西学院大学建築学部教授
コミュニティデザイナー

studio-L代表。関西学院大学建築学部教授。コミュニティデザイナー。社会福祉士。

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。

著書に『コミュニティデザインの源流(太田出版)』、『縮充する日本(PHP新書)』、『地域ごはん日記(バイインターナショナル)』、『ケアするまちのデザイン(医学書院)』などがある。

牧野 篤

まきのあつし

大正大学教授

愛知県生まれ。博士(教育学)。2008年東京大学大学院教授、2025年より現職。

専門領域は、社会教育学・生涯学習論で、日本のまちづくりや高齢化と過疎化問題に関心がある。最近では、自治体と一緒に公民館や生涯学習の共同調査を行ったり、多世代交流型コミュニティの構築を進めたり、さらには企業と一緒に「ものづくりの社会化」プログラムなどを運営したりするなどの調査を進めている。著書に、『公民館はどう語られてきたのか—小さな社会をたくさんつくる・1』『公民館をどう実践してゆくのか—小さな社会をたくさんつくる・2』『公民館を再発明する—小さな社会をたくさんつくる・3』(いずれも東京大学出版会)など。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員、同社会教育の在り方特別部会副部会長。



ぽこあぽこハンドベルアンサンブル

私たちは2023年に演奏活動10周年を迎えた『ぽこあぽこハンドベルアンサンブル』です。

メンバーそれぞれが障がいを持ちながらも、東京都八王子市東浅川保健福祉センター内の「レストランあさかわ」と売店で楽しく元気に働いています(就労継続支援B型)。

「ぽこあぽこ」。それは、イタリア語で「少しずつ」という意味。私たちは、その言葉の通り、一步一步、音楽と向き合いながら歩んできました。最初はうまく音を鳴らすことさえできませんでしたが、少しずつ続けるうちに、音がつながり、メロディーになり、1年後コンサートで演奏するまでに成長しました。

指導者は、東浅川保健福祉センターにあるNPO法人あさかわの所長で音楽療法士の野村諭氏。レストランだけでなく「何か全員で取り組めるものを」との想いが、「ぽこあぽこ」の始まりでした。今ではさまざまなホールで演奏する機会をいただき、音楽を通じて観客の皆さまとつながり、感動や元気を届けています。

音楽の力は、心を癒し、人と人をつなぐ力があると信じています。私たちの演奏が皆さまの心に響き、楽しいひと時となれば幸いです。レストランあさかわ、実は「八王子ラーメン」が大人気！味も麺もスープも三拍子そろった自慢の一品で、なんと心も体もポカポカにしてくれます。八王子にお越しの際はぜひ食べに来て、私たちにも声をかけてください。



河村 潤子

かわむら じゅんこ

元文部科学省生涯学習政策局長

京都府生まれ、東京育ち。文部省・文化庁・千葉市教育委員会・国立大学等で、教育・文化・学術分野の行政や現場の業務に携わり、文化庁次長（2012年～）、文部科学省生涯学習政策局長（2014年～）、内閣官房での文化関係担当（2016年～）などを務めて、2017年退職。その後2018年から2023年まで、国立の6つの劇場の設置者である独立行政法人日本芸術文化振興会の理事長として、劇場の運営や文化芸術活動の援助などの任に当たった。

現在は、文化・教育分野を中心に、国公私の多様なセクターのいろいろな仕事に少しずつ日々関わっている。

Profile

アサダワタル

あさだわたる

アーティスト、文筆家、近畿大学准教授

1979年大阪府生まれ。滋賀県立大学大学院環境科学研究科博士後期課程満期退学。博士（学術）。音楽などの表現行為をきっかけに、市街地や復興住宅、福祉施設や学校など様々な生活現場に赴き、「これまでにない他者とのつながりかた」を実践・研究・提案している。「アート×社会活動」が専門で、自称“文化活動家”。2000年代にドラマラーやソロミュージシャンとしてキャリアを始め、地域づくりに関わるNPOや寺院に勤めた後、2009年より私的空間を他者と共有するムーブメント「住み開き」を提唱し話題に。2010年代から市民参加型のアートプロジェクトの演出家として各地で活躍。2022年より近畿大学文芸学部文化デザイン学科特任講師、2025年から現職。著作ほか作品に『住み開き増補版』（筑摩書房）、『想起の音楽』（水曜社）、『福島ソングスケイプ』（CD作品）など多数。今夏に「当事者性」をテーマにした新著を晶文社より出版予定。



宮城 潤

みやぎ じゅん

那覇市若狭公民館館長、
NPO法人地域サポートわかさ理事

1972年那覇市生まれ（復帰っ子）。2001年「前島アートセンター」設立に参画、アートとまちづくりの活動にかかわる（2011年まで活動）。2006年社会教育指導員として那覇市若狭公民館に勤め、その翌年に非常勤館長、その後、一部業務受託団体事業責任者、指定管理者の館長と4回の職名変更を経て、若狭公民館勤務20年目。その間、文科省優良公民館表彰にて「最優秀館」に選ばれたほか、全国公民館連合会が主催する各コンクールにて、最高賞8回を含む13回の上位入賞。公民館を拠点としたまちづくりの取り組みが評価され「第9回地域再生大賞」優秀賞、「2022年度国際交流基金地球市民賞」などを受賞。

田中 元子

たなかもとこ

株式会社グランドレベル代表取締役社長

建築コミュニケーターとして建築関係のメディアづくりに従事後、2016年「1階づくりはまちづくり」をモットーとする株式会社グランドレベルを設立、2018年私設公民館として「喫茶ランドリー」を開業、同年グッドデザイン特別賞グッドフォーカス賞（地域社会デザイン）。

設計コンサルティングやプロデュースなどを全国で手がける。

主なプロジェクトに「まちのフードコート オラ・ネウボーノ」（2025）「旧金谷小学校 ORAGA hub.」（2024）「福祉施設×マーケットホール 森の木base」（2022）「国営海の中道公園 インクルーシブ MOGMOG PLAY CAFE」（2022）「ジャパン/トーキョーベンチプロジェクト」（2017-）ほか。

主な著書に『マイパブリックとグランドレベル』『1階革命』（晶文社）ほか。



Profile



栗山 宗大 | 映像作家、脚本家

くりやま むねひろ

地域社会やコミュニティを題材とした映像・映画作品を数多く手がけている。日本初の「市民参加型映画事業」のモデルをデザインした、ものがたり法人FireWorksを創業。地域住民が自らの地域のために映画を製作するプロジェクトの創発・プロデュースに関わる。

岐阜県恵那市において3万人以上の住民が参加して制作された映画「ふるさとがえり」は、全国各地で今でもロングラン上映されつづけている。

村松 真貴子 | 全国公民館連合会副会長、フリーアナウンサー

むらまつまきこ

元NHKキャスター。NHKテレビ「イブニングネットワーク」「こんにちは！と6けん」「きょうの料理」などを担当。現在は、NHK文化センター、NHK学園、公民館などの「話し方講座・朗読講座」講師。また「言葉は未来を創る」というテーマで講演し、執筆活動もしている。「全国公民館連合会」副会長なども務める。「月刊公民館」に「『こんにちは』に心を込めて」を連載中。



主催：公益社団法人全国公民館連合会